

## 平成 24 年度第 4 回青森市子ども委員会議開催概要

1. 日時 平成 24 年 5 月 12 日（土） 9 時 15 分～12 時 15 分
2. 場所 市役所柳川庁舎 2 階 講堂
3. 出席者 平成 24 年度青森市子ども委員会議委員 18 名（欠席者 14 名）  
子ども委員サポーター 6 名  
青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会委員 9 名  
事務局 6 名
4. 活動内容 「日ごろ、おかしいと感じることや納得いかないこと」について意見発表
5. 開催概要

第 4 回会議は、前後半の 2 部構成で行われ、前半は、第 3 回に引き続き、「日ごろ、おかしいと感じることや納得いかないこと」について、グループごとに意見をまとめ、それを発表するためのマップづくりを行いました。

各グループとも、後半の意見発表までの限られた時間の中で、一生懸命マップづくりに取り組んでいました。



このほか、自分たちの意見をどのように発表するかについても話し合いをしました。

誰がどの意見を発表するのか、また、順番はどうするのかなどについて、時折談笑も交えながら、楽しい雰囲気の中で話し合いをしていました。



続いて後半は、「子どもの権利条例」づくりにあたって、幅広い視点から検討していただいている「青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会」の皆さんとの合同会議を行いました。

合同会議では、まず、児童福祉専門分科会の皆さんと子ども委員の皆さんによる自己紹介を行いました。



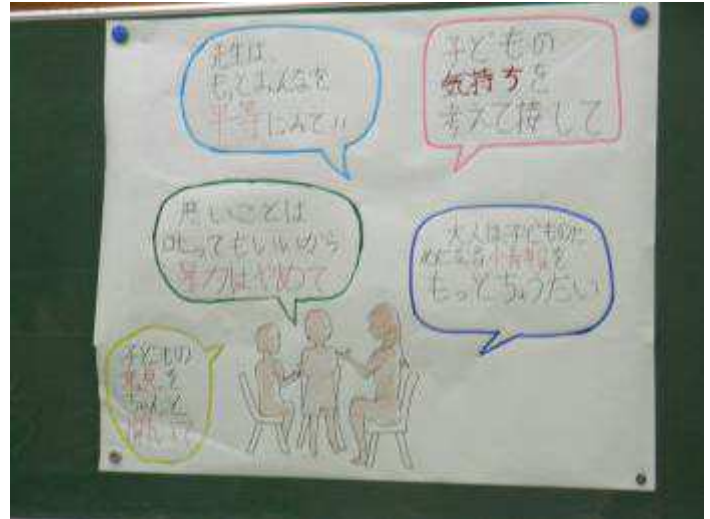
そして、いよいよ、子ども委員による意見発表の出番となりました。

意見発表にあたっては、サポーターも一緒になり、マップを使いながら、自分たちの思いを分かりやすく説明していました。



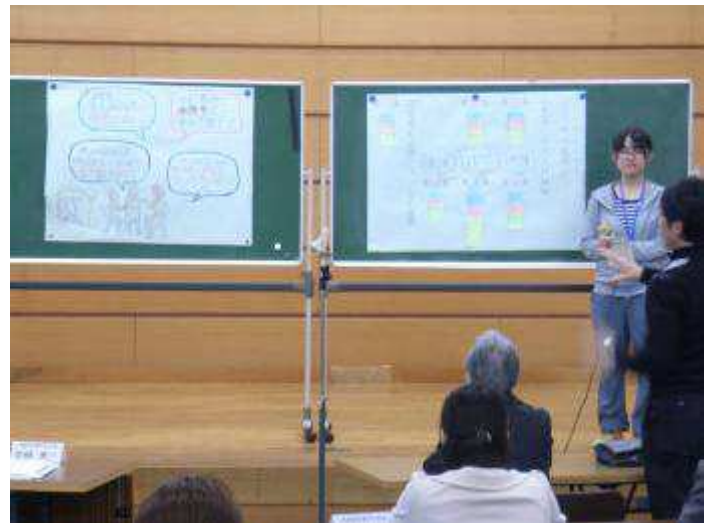
### グループAの発表内容

- ・人によって態度を変える先生がいることに納得がいかないので、先生はもっとみんなを平等に見てほしい。
- ・子どもの意見を大人が無視することが多いことと、教師が一方的に子どもを怒ることがあるので、子どもの意見をちゃんと聞いてほしい。
- ・教師が子どもに対して、暴力で注意したり叱ったりするのは、子どもの教育にはならないと思うので、悪いことは叱ってもいいが、暴力はやめてほしい。
- ・親は、子どもに関する情報（子どもの預金など）について、情報の公開をしないので、もっと情報がほしい。
- ・まとめとして、大人は子どもの気持ちを考えて接してほしい。



### グループAの意見に対する質問

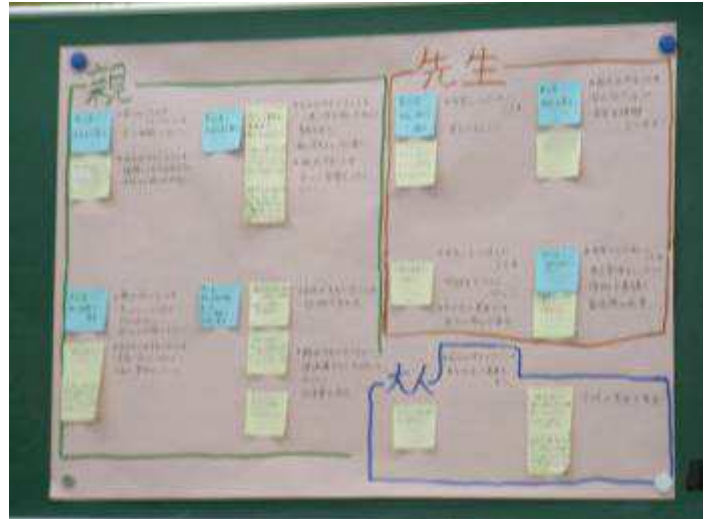
- 【問】 教師の暴力という話がありましたが、具体的にはどんな暴力があるんですか。
- 【答】 自分が悪さをしたことは認めるんですが、それに対して叩いてきたりしたという意見が出ていました。行き過ぎた叱り方はやめてほしいと思いました。
- 【問】 子どものためになる情報がほしい、貯金のこととかが分かったときに、その情報をどのように使いたいですか。
- 【答】 子どもが親に預けているお金（お年玉など）のこととかを知りたい。





### グループBの発表内容

- ・親の言動が矛盾しているということ、具体的には、子どもが「〇〇さんの家はこんなのに」と親に言うと、親は「よそはよそ」という感じで言うのに、成績とかの話が絡んでくると、親は他のところと比較したりすることなどが納得いかないので、親は気がいたら声をかけてほしい、また、子どもは矛盾に気付いてもらうために（親に）質問をしていくことだと思いました。
- ・親には自分の意見を最後まで聞いてほしいということ、具体的には、親の話す勢いが強すぎて自分の意見が言えず、そのまま親に流されてしまうということがあるので、親は気付く習慣をつけてほしい、また、子どもは親の話を一通り聞いたあとに意見をいうことだと思いました。
- ・文化部と運動部の間で、文化部は地味だと言うことがあるので、それに対して、先生が授業などで、例えば美術部の人を作った作品を見せるなど、良いところをアピールしてほしいと思いました。
- ・まじめに物事をやっている人がバカにされたり、正しいことをしている人がダサいと言われることがある、具体的には、制服のボタンをきちんと上までしなければいけないという決まりがあるのに、ちゃんとボタンをしないで着くずしている人が多くなっていて、きちんとしている人がダサいという考え方が生まれてきてしまっているので、子どもは周りに流されないこと、また、先生たちが子どもをよく見て、ほめて伸ばしてほしいと思いました。
- ・子ども会がない町会があるので、子ども会がある地域に参加できるなどの対応してほしいと思いました。
- ・まとめとして、子どもは大人の意見を尊重しなければいけないが、大人は子どもに目を向けて、子どもの意見を尊重してほしい。



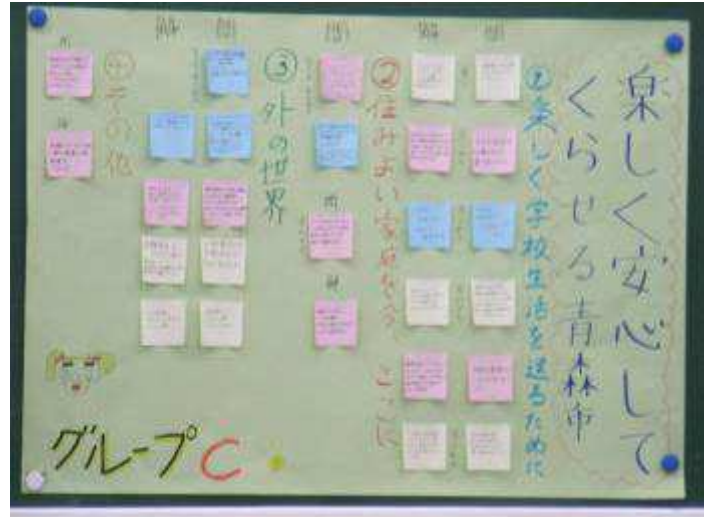
### グループBの意見に対する質問

- 【問】ほめて伸ばしてほしいということでしたが、叱られることよりも、ほめられる回数が少ないと感じているということですか。
- 【答】ほめられるとすごく嬉しくて、いろいろなことが楽しくなるので、良いところを見つけたらすぐほめてほしいし、悪いことをしたらきちんと叱ってほしいという意味もあります。



### グループCの発表内容

- ・グループCでは、「楽しく安心して暮らせる青森市」というテーマを掲げました。
- ・部活動とかの大会をテスト近くにしな  
いで、学校のテストを把握して大会を  
開催してほしい。
- ・先生の言ったことを守らないとき、厳  
しい指導が必要になるのは分かるが、  
暴力的になることがあるので、手を出  
しすぎず、もう少し生徒の声に耳を傾  
けてほしい。
- ・先生が理不尽な発言をすることがある  
ので、子どもの気持ちを考えて発言し  
てほしい。
- ・委員会の委員長などをやりたいという人がいたのに、独断で委員長などを決めてしまった先生がいたので、先生はちゃんと意見を聞いて、公平に決めるべきだと思いました。
- ・校則がしっかりと守られていないので、その場合は親にも協力してもらおう。
- ・地毛で髪の毛が明るいだけなのに、校則だからといって黒く染めさせるのではなく、人それぞれ生まれつきのものであるのであれば、染めさせないべきだと思いました。
- ・虐待のニュースを見たが、虐待をする親は、心が子どものまま親になってしまったのだと感じた。「子どもの権利条約」を全員が親になる前に、子どものうちに知っておくべきだと思いました。そのために、リーフレットでは読まない人がいるので、交通安全教室のように、映像とか講演みたいに見せるといいと思いました。
- ・大人が子どもの話を最後まで聞いてくれず、勝手に解釈をすることがあるが、大人は面倒でも子どもの言い分を聞いて、子どもは意見があるならばはっきりと表現するべきだと思いました。
- ・外国や日本も含めて、子どもが拉致される事件（臓器売買の問題）が起こっていることは、生きる権利、守られる権利が足りていないと思いました。
- ・義務を果たさないで権利だけを主張するのではなく、義務を果たしたうえで権利はもらえるものだと思います。
- ・「子どもの権利条約」を見れば、子どもに権利があることは分かるが、具体的に何をしなければならぬかが小学生などに伝わりにくいので、権利の中にも責任と義務をもう少し明確に入れるべき、また、多くの人に知ってもらうために、くだけた表現も必要だと思いました。
- ・高校生は自宅から学校まで遠くて、通学にバスを使うので、高校生もバスを無料にすればいいと思いました。
- ・チャイルドラインなどの相談窓口の存在をもっとアピールして広めればいいと思いました。



### グループCの意見に対する質問

【問】義務を果たさないときは、権利は認められない、というような意見がありました。ここでいう、皆さんが考えた“義務を果たしていない”というのは、どういうことをイメージしているのかを教えてください。

【答】義務教育で学校に行くことです。小・中学校で学校に行っていない人もいますので、もっと行ってほしいと思います。

【問】学校に行っていない、これには、いろいろな事情があって行けないということがあるので、これも義務を果たしていないと言っていいのかどうかというのがあります。義務を果たしていないということではなくて、その人が学校に行って、みんなと一緒に勉強するという権利が侵害されているということであって、その権利をきちんと実現するために、みんなで考えなければいけないのではないかなと思います。

【問】チャイルドラインなどの相談についての意見で、広くアピールしていても、そういうところに相談するのをためらってしまうということがあると思うので、ためらわず、大人へ相談してもいいんだよという認識をつけていくというのにも必要ではないかと思いました。

【答】広くアピールするときに、ためらうことなく相談してもいいということも含めてアピールをすればいいのではないかと思いました。

【問】高校生は、自分が勉強をしたくて高校に行っているのに、バス代などがこれだけかかっていることとかが、頑張る糧になっていたりするので、バス代を無料にすることが子どもの権利というのはちょっと違うのかなと思いました。

【答】高校は義務教育ではないので、お金がたくさんかかるということを知ったことがあったので、高校生も無料にできればいいと思いました。小学生が無料になっていることを否定しているわけではなくて、高校生はいろいろお金がかかるということを想定して、無料だったら使いやすいのに、という趣旨の意見です。

【問】小・中学生は、通学のためにバスを使うということがほとんどないので、それよりは高校生を無料にしたほうがためになるのではないかと思いました。

【問】中学生になって、塾や遊びに行くためにバスをよく使ったりするので、中学生も無料になればいいと思いました。

【答】子どもの権利に関する学習会のときに、「違っていいことと違ってはいけないこと」という話があったと思いますが、今のバス代の話はちょっと関係するかなと思いました。例えば、医療費の話でも、青森市はこうだけど、他の自治体はこうだというような、政策に関わることなのかなと思いました。





### グループDの発表内容

- ・学校の話合いなどで、自分の意見を発表しているときに、他の意見をすぐにはさんできたりすることがあるので、ちゃんと自分の意見を聞いてほしい。一人一人の意見はどんなことでも大切だと思いました。
- ・身近な大人に対する意見として、大人は言っていることとやっていることが違うと普段から思えるので、自分の意見にはもっと責任を持つべき、また、やったことにも責任を持つべきだと思いました。
- ・ゆとり教育が終わったことで、その境目にいる中学生などは、これまでやってきたことに加えて、ゆとり教育のためにやっていなかった（やらなくてもよかった）部分についても、取り戻して勉強をしなくてはいけない、多くのことをやらなければいけない。これからの子どもは、そうではなくて、普通に勉強できるので、勉強の量に差が出るのはおかしいと思いました。
- ・テレビ東京やフジテレビを見たい。地方によって見れないのは不公平だと思いました。
- ・まとめとして、今よりみんなが楽しく暮らすためには、自分たちの意見をちゃんと聞いてもらい、理解してもらうことが大事だと思いました。理解したことを口だけの約束にしないで、ちゃんと実行してもらうことも大切だと思いました。



### グループDの意見に対する質問

【問】ちゃんと自分の意見を聞いてほしいというお話があったと思いますが、どうなると、ちゃんと聞いてもらえたと思えるのかを教えてください。

【答】私の学校でのことですが、運動会の練習で使っていた大縄跳びをきちんと片付けていないという話を聞いた先生が、帰りの会で、ちゃんと片付けをするようにみんなに注意をしたということがあって、自分たちの話を受けて、この先生のようにきちんと実行してもらえたときに、ちゃんと話を聞いてもらえていると感じます。

【問】テレビ局の話で、自分はケーブルテレビに入っていて、フジテレビは見れるんですが、毎月4,000円くらい払っている。これを、お金を取らないで、みんなが見れるようにすると、そこで働いている人が困ると思いました。

【問】青森のテレビ局が少ないのは、青森が狭くて電波を増やすことができないからだと思います。

【答】子どもたちは、そういうことも含めて何も知らないから、もっとこうしてほしいということを言っているのであって、大人から、なぜできないのかということをしちゃんと説明してもらえれば、子どもたちは納得することができるので、大人にはもっと教えてほしいという意見もありました。



### 児童福祉専門分科会会長のお話

今日、子ども委員会議の皆さんが考えてくれた「日ごろ疑問に思っていること」の中に、自分たちの権利の中で、当たり前前の方が当たり前前のこととして、きちんと保障されていないのではないか、という疑問もいくつかあったとおもいます。

それらについては、これから、青森市の子どもの権利条例を作っていくうえで、私たち児童福祉専門分科会の大人と一緒に議論をしていくことになると思いますので、今後よろしくお願いいたします。

